

事業者排出量削減計画書

| | | | | | | | |
|---|--|---|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------|
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更 | | | | | |
| (宛先) 京都市長 | | 平成26年9月21日 | | | | | |
| 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都中央区銀座2丁目16番10号 | | 氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) ヤマト運輸株式会社 代表取締役社長 山内 雅喜 電話 03-3541-3411 | | | | | |
| 主たる業種 | 一般貨物自動車運送事業 | 細分類番号 | 4 4 1 1 | | | | |
| 事業者の区分 | <input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ | | | | | | |
| 計画期間 | 平成26年4月から平成29年3月まで | | | | | | |
| 基本方針 | 平成23年度から平成25年度の平均排出量を基準に、平成28年の温室効果ガス排出量を3%削減させる。 | | | | | | |
| 計画を推進するための体制 | 京都主管支店社会貢献課を中心に会議等で進捗確認を実施する。 | | | | | | |
| 温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標 | 温室効果ガスの排出の量 | 基準年度 (25)年度 | 第1年度 (26)年度 | 第2年度 (27)年度 | 第3年度 (28)年度 | 増減率 | |
| | 事業活動に伴う排出の量 | 4,851.7 トン | 5,027.5 トン | 5,022.3 トン | 5,002.8 トン | 3.4 パーセント | |
| | 評価の対象となる排出の量 | 5,027.3 トン | 4,728.5 トン | 4,722.3 トン | 4,702.8 トン | -6.2 パーセント | |
| 目標の根拠 | 第一計画期間において目標の2%を達成しているが、自主目標として-3%を目指す。 | | | | | | |
| 原単位当たりの温室効果ガス排出量等 | 事業の用に供する建築物の用途 | 原単位の指標 | 基準年度 (25)年度 | 第1年度 (26)年度 | 第2年度 (27)年度 | 第3年度 (28)年度 | 増減率 |
| | 事務所 | 事業活動に伴う排出の量 (走行距離×1/100) | 73.50 | 73.50 | 73.50 | 66.90 | -2.99 パーセント |
| | | 事業活動に伴う排出の量 () | | | | | パーセント |
| 原単位の指標及び目標の根拠 | 経年車両を低公害車両へ入替、エコドライブを推進させる。自転車や台車等での集配作業を推進させ、環境と渋滞緩和に貢献する。 | | | | | | |
| 重点的に実施する取組の実施計画 | 基準年度 (25)年度 | 第1年度 (26)年度 | 第2年度 (27)年度 | 第3年度 (28)年度 | 備考 | | |
| | 38.0 パーセント | 38.0 パーセント | 38.0 パーセント | 38.0 パーセント | | | |
| 具体的な取組及び措置の内容 | (26)年度 | 低公害車両への入替及びエコドライブの推進 | | | | | |
| | (27)年度 | 低公害車両への入替及びエコドライブの推進 | | | | | |
| | (28)年度 | 低公害車両への入替及びエコドライブの推進 | | | | | |
| 通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置 | 措置の内容 | 主管支店におけるCSR会議等で公共交通機関による通勤を促す。 | | | | | |
| | 上記の措置を採用する理由 | 市内の渋滞緩和と温室効果ガス排出量を削減させることを目的とする。 | | | | | |
| 森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量 | 区分 | 第1年度 (26)年度 | 第2年度 (27)年度 | 第3年度 (28)年度 | 備考 | | |
| | 森林の保全及び整備によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | | |
| | 地域産木材の利用によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | | |
| | 再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | | |
| | グリーン電力証書等の購入によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | | |
| 温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | | | |
| 合計 | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | | | |
| 地球温暖化対策に資する社会貢献活動 | 小学生を対象に環境教室を開催する。その他地域イベントへの参加活動。 | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | | |

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。